2026.10.19　全校朝礼

スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋

おはようございます。

3 年生は、就職試験や進学試験も始まり、今現在、それぞれの進路実現に向けて精一杯取り組んでいることと思います。残された時間を有効に活用し、「思（ム）いドゥ運命（ヌサリ）！」の精神で、粘り強く、精一杯取り組んでください。健闘を祈ります。

さて、季節は、秋となり、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋などと言われており、秋には、様々なイベント等が開催されます。

先日は、町民体育大会が開催されました。町民体育大会おいては、生徒の皆さんが大会運営員ボランティアや集落、校区の選手として協力し、地域に貢献していることがうれしく思い、そして、たのもしく思いました。心より感謝します。引き続き、地域の行事への参加協力をできるかぎりお願いします。

また、先ほど表彰したバドミントン部と卓球部については、町民体育大会でもその活躍が紹介されました。皆さんが頑張っている姿を見る事で、町民の皆さんも元気をもらっていることと思います。

他の各部活動においても地区大会において、頑張っていることが顧問の先生方から報告を受けています。今月末からは、県大会も始まることと思います。試合では勝利を目指すことはもちろんのことですが、勝敗だけにとらわれることなく、今、自分たちが持っている力、練習してきたことを出し切る事に集中することが一番大事だと思います。勝っても、負けても、次なる課題を見つけて更なる成長につなげてください。

また、今月末から来月にかけて、第 7 回未来と健康のための高校生ビジネスアイディアコンテストや奄美 kuroshio シンポジウム、奄美群島拠点シンポジウムなど探究活動に関するイベントも開催されます。出場する皆さんは、頑張ってください。

次に、芸術の秋について、今週末には、芸術鑑賞会があります。世界で活躍されている一流アーチストの演奏に触れることは、めったにない機会です。みんなで楽しみにしましょう。

読書の秋について、今月下旬は、読書週間になっています。インターネットや、AI の時代になり、知りたいことは、簡単にしらべることができるようになりました。書籍で調べるよりも手軽に調べられるので、読書によって知識を得るなど、知識の量としては問題ないのかもしれません。読書で大事なことは、読書を通して著者の意見等に触れながら、自分はどのように感じ、どのように考えるか、自分自身と向き合うこと、自分の中で対話をしながら自分なりの読

み方をして、今後、どう生かしていくのかを考えることだと思います。ぜひ、本を手に取り、読書を通して自分自身とじっくり向き合ってみてはいかがでしょうか？

最後に、皆さんに、二つお知らせです。

１つ目は、与論翔励会関係についてです。文化祭の開会式前に、中山教育長から、与論翔励会の活動内容について説明があり、志摩副会長から援助金の贈呈がありました。関連して、与論翔励会の初代会長の佐藤持久様からは、過去に、本校に対して花の寄贈があり、花壇の表示があったようです。佐藤持久さんは、何年か前にお亡くなりになっていますが、東京で、三陽電設という会社を起業し、就職難の時代や、皆さんのお父さんお母さんの頃には、毎年、与論高校生を採用いただくなど、大変お世話になった方です。この度、寄贈された花が植えられていた花壇に、あらためて花壇表示の看板を設置することになりましたので皆さんにお知らせします。10 月末頃の設置予定で、場所は、教室等の前にある花壇の一番東側の花壇になります。

２つ目は、創立 60 周年事業についてです。11 月 14 日（土）の記念式典等まで、残り１ヶ月を切りました。創立 60 周年実行委員会では、創立 60 周年事業の主な事業として、皆さんの教育活動の支援ができるようにと「与論高校みらい基金」設立のため、同窓会（窪舎会）を中心に募金活動を行っています。広報ポスターも町のあちこちで掲示してあるのを目にするようになりました。生徒の皆さんにおいては、与論町や与論翔励会、同窓会、保護者、地域の方々などたくさんの方々に支えられていることに感謝の気持ちを忘れず、進路実現に向けて、日々の学校生活に精一杯取り組んでください。

以上で終わります。